

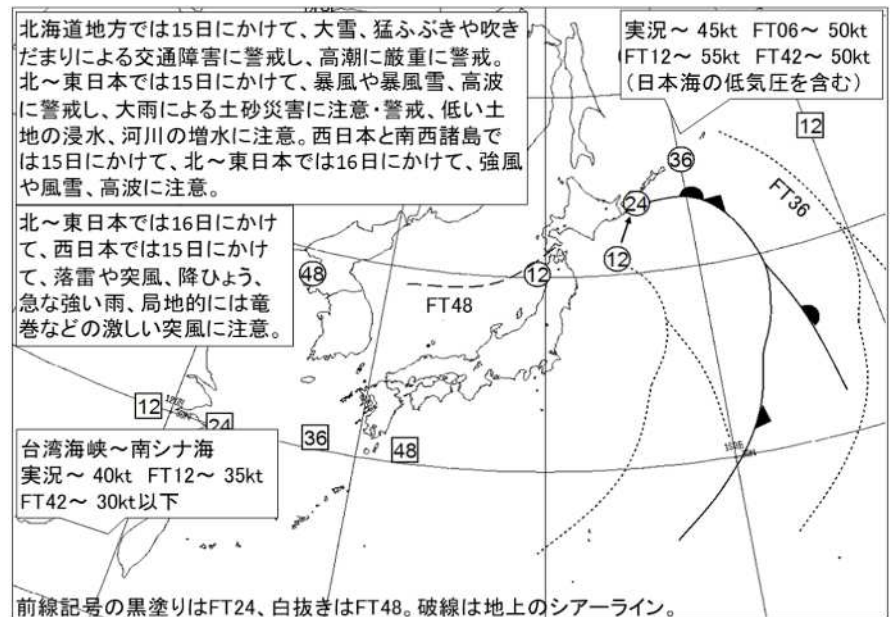
短期予報解説資料 2025年12月14日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

① 500hPa 5520m付近のトラフに対応する低気圧が前線を伴って伊豆諸島付近を、500hPa 5340m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応する別の低気圧が日本海中部を、共に急速に発達しながら北東進している。低気圧や前線の影響により、えりも岬で非常に強い風を観測する等風が強く、全国的に波が高くなりしけの所がある。また、伊豆諸島周辺や日本海で発雷し、やや強い雨を解析。北日本では3時間で5cm以上の降雪を観測。

② 高気圧が華中を東へ移動。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の関東の東の低気圧は、14日はトラフの前面で急速に発達しながら日本の東を北上し、15日は根室付近を通って千島近海へ進み、16日はオホーツク海を北上する。1項①の日本海の低気圧は、14日は上層トラフの深まりと共に急速に発達しながら秋田沖へ進み、15日は東北地方へ進んだ後、前者の低気圧に取り込まれるように不明瞭化する。低気圧や前線の影響で、雪を伴った非常に強い風が吹き、波が高くなり大しけとなる所があり、高潮のおそれもある。また、低気圧や前線に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い雨や雪が強まり、大雨や大雪となる所がある。北海道地方では15日にかけて、大雪、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害に警戒し、高潮に厳重に警戒。北～東日本では15日にかけて、暴風や暴風雪、高波に警戒し、大雨による土砂災害に注意・警戒、低い土地の浸水、河川の増水に注意。北～西日本では15日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。西日本と南西諸島では15日にかけて、北～東日本では16日にかけて、強風や風雪、高波に注意。

② 1項②の高気圧は、15日にかけて華中から東シナ海を東へ移動し、16日は日本の南に中心を移す。16日は、別の高気圧が日本の東で顕在化して、東へ移動する。

③ 16日は、シアーラインが東北地方や日本海を南下し、北日本中心に下層寒気移流が強まる。シアーラインの南側には下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となる所がある。地盤の緩んでいる所もある。北～東日本では16日は、大雨による土砂災害、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：北海道80、東北・関東甲信・東海40、北陸30、中国25、近畿20cm。③ 波浪(明日まで)：北海道7、東北・北陸6、その他広い範囲で5～4m。④ 高潮(明日まで)：北海道地方では、警報基準を超過する所があり、東北地方～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。